

日本語指導の必要な帰国・外国人児童への日本語指導を行う活動

茨城県つくば市		● 活動名 風の会 (帰国・外国人児童への日本語指導ボランティア活動)		● 関係する学校名 つくば市立吾妻小学校	
開始年度	昭和 60 年度	学級数	22 学級	児童・生徒数	524 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 環境整備 <input type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	連携団体・企業等	つくばインターナショナルグループ(T.I.G.) 学校部
ボランティアの数	登録人数 53 人	属性	地域住民、本校保護者及びOB		
参考 URL	http://www.ne.jp/asahi/kazenokai/tsukuba/				
● 連絡先	つくば市立吾妻小学校			☎ 029-851-7101	

● 体制図

ボランティア団体「風の会」

小学校
管理職(指導)
↓
国際教育部
↓
日本語指導担当教諭 養護教諭
↓
学級担任・学年担任

連絡・調整
(コーディネート役)
学校側: 日本語指導担当教諭
風の会側: 会代表

● 活動の概要・経緯

吾妻小学校区には、筑波大学の留学生寮や外国人教授・職員の宿舎があり、児童数 524 名中、帰国児童 18 名、外国人児童 50 名が在籍している (5/8 現在)。そのうち、日本語指導を要する児童は 41 名、日本国籍で両親のどちらかが外国人である児童で日本語指導の必要な児童は 4 名おり、合計 45 名の児童が日本語指導を必要としている。このようなことから、日本語指導の必要な児童とその家族の日本語学習を支援することを目的として、1985 年にボランティア団体「風の会」が設立された。現在 53 名の会員によって構成されており、学校と連携しながら、日本語指導の必要な児童や保護者への日本語指導をサポートしている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- 帰国・外国人児童への日本語指導のサポート
- 帰国・外国人児童の保護者に対する学習・生活面の支援
- 帰国・外国人児童及び保護者同士の交流活動の実施
- 帰国・外国人児童及び保護者向けのバザー「風の会リサイクルバザー」の実施
- 学校からのおたよりの翻訳や学校側と保護者間との通訳等コミュニケーションのサポート
- 風の会独自の日本語の学習教材作成

【実施にあたっての工夫】

- 日本語指導担当教師と教務主任が協議して時間割を作成し、「風の会」代表と協議して指導する時間を決定している。
- 児童の実態や必要時数により、効果的な人数、指導方法を協議し実施している。
- ボランティアによる 1 単位時間内の指導で、複数の児童の指導は依頼しないようにしている。
- 日本語指導担当教師と連携し、指導段階を下記の 3 段階に分け、児童が学校生活を円滑に送ることができるようにする。
 - ・ 初期支援段階
 - ・ 個別学習支援段階
 - ・ 支援付き自立学習段階
- 風の会が長年の経験から作成した日本語指導テキストを活用しながら日本語指導を行っている。

● 事業を実施しての効果・成果

- 児童一人ひとりに合わせた日本語指導ができることで、早く日本語を習得でき、交流学級での通常授業参加が可能となっている。
- 途中転入の多い地域であるため、個々の事情に合わせたきめ細かな指導が可能となっている。
- 日本語ができない保護者への通訳をお願いしており、学校と保護者との橋渡的存在となっている。
 - (一例) ・ 学校からの保護者向けおたよりの翻訳 (必要に応じ必要な言語に翻訳)
 - ・ ラマダン期間の断食についての保護者連絡会での通訳
 - ・ 帰国・外国人児童保護者の悩み事相談等

● その他

つくば市内で同様の主旨で活動しているグループ同士で「つくばインターナショナルグループ(T.I.G.)」に参加し、他校の指導に関する情報交換を行い、更なる活動の充実を図っている。



風の会リサイクルバザーの様子



日本語教室交流会の様子